



学年のようす



それぞれの学年での子どもたちの活動を紹介します。

1年

9月14日(木)に、「図書ボランティア」による初めての読み聞かせがありました。「ジプタ」や「ウラパン・オコサ」など、1年生が楽しめる絵本を読んでもらいました。夢教育応援団読み聞かせサポーターのみなさんの読みに、子どもたちはウキウキ、ワクワクしながら聞いていました。読み聞かせが終わると、「次はいつ来てくれるの?」と質問が出るほどでした。

1年生の子どもたちは、4月から音読の学習に取り組んでいます。声の大きさや抑揚の付け方など、読み聞かせで気付いた大事なポイントを、これからの音読で生かしていきます。



2年

生活科で、おもちゃづくりの学習をしています。「とぶ」「すすむ」「くっつく」「ゆれる」など、おもちゃの動き方に注目してどんなおもちゃを作るか計画しています。また、1年生の時に学習した「ころがす」あそびの復習として、皆でボール大会をしました。ペットボトルに入れる水の量を考えたり、ボールの形や重さを工夫したりして楽しみました。友だちと仲良く遊びながら、学習を積み重ねていって欲しいです。



3年

9月21日(木)に校外学習で、シルク博物館と森永鶴見工場に行きました。シルク博物館では、蚕の一生を動画で観た後糸繰り体験を行い、展示物を見学しました。着物一式を作るためにまゆ9000個が必要であることを知り、その分の命をいただいていることを、子どもたちはしっかりと感じ取っていました。森永鶴見工場では、袋詰めや検査する行程を実際に見ることができました。子どもたちは、工場の方の話をよく聞き、お菓子作りにかかる工夫と努力を理解していました。

グループで協力し、元気に仲良く過ごすことができたことも大きな収穫です。学び取って身に付けたことを、これからの学習でも生かしていきたいと思えます。



4年

図画工作科の「ギコギコトントンクリエイター」では、木材を加工して作品を作っています。

昨年は釘と金づちの使い方を知り、今年はノコギリの使い方を覚えました。これがなかなか難しいのです。板を足で押さえて、「ノコギリは引くときに切れるから」と色々なことを考えながら、悪戦苦闘を繰り返して頑張っていました。

子どもたちの結論は、「やっぱり図工は楽しい!」ということです。子どもたちの創造性を刺激してくれる教科です。

次は、彫刻刀を使い、木版画を行います。



5年

9月4日(月)に、社会科の校外学習で「日産自動車追浜工場」へ行ってきました。

最初に大ホールで全体の行程の動画を見た後、グループに分かれて「プレス工程」の資料学習、「組み立て工程」の工場見学、「出荷工程」の港見学をしました。

「組み立て工程」では従業員さんたちの作業を楽にする工夫が随所に見られました。重い部品の取り付けを補助する「アーム」、いろいろな種類の自動車を同じラインで組み立てるための「仕様書」、細かい部品を運ぶ「自動運転車」、また、作業員オリジナルの工作機械等、教科書だけでは学習できないものがたくさん見られました。

「出荷工程」では運よく運搬船の中に完成した自動車を運び込む様子まで見る事ができました。動画や写真で見るとより分かりやすく臨場感のある工場見学は、子どもたちの知識欲を十分に満たしてくれるものになります。



6年

運動会に向けてソーラン節の練習が始まりました。時間を見つけて休み時間にも進んで取り組み、手本の動画を見て振付を確認しています。自分の踊りをiPadで撮影したり、友達同士で教え合ったりしながら、力強い漁師の姿を表現することを目指しています。

これから練習を重ねることで、学年や学級での認め合いの力も高めていきます。けがや体調不良に気を付けて進めていきます。ご家庭でもお子さんに練習の様子を聞いてみてください。



6組

各学年の運動会の団体競技の練習が始まり、交流級で練習することが多くなりました。中休みのプレイルームでは、各学年の演技曲が流れ、汗を流しながら声を掛け合っている姿も見られます。また朝の会では、「ラジオ体操第一」の練習も始まりました。運動会に向けて、少しずつ熱が入り始めた子どもたちです。



※ 画像とともに適宜入力してください。本田が編集します。